

平成29年度 第2回 総会

◇期 日：平成29年6月19日（月）

◇場 所：上伊那教育会館講堂

《 次 第 》

- 1 開会
- 2 上伊那教育会の歌『仰望の日』
- 3 会長挨拶
- 4 信濃教育会常任委員会報告
- 5 議事
 - (1) 第1号議案「平成28年度上伊那教育会事業報告承認」に関する件
 - (2) 第2号議案「平成28年度上伊那教育会決算報告承認」に関する件
- 6 協議
- 7 諸連絡
- 8 閉会



矢澤 淳 上伊那教育会長 挨拶（抜粋）

去る5月19日には、一般参加者30名を加えて、上伊那教育会総研修会仰望の日をつつがなく終えることができました。代議員の皆様のご尽力のたまものと深く感謝いたします。地域の民話を題材に総合の実践発表していただいた高遠北小学校中島元博さんの会員発表「きつだま2」、作家・詩の道化師ドリアン助川さんの講演「私たちはなぜ生まれてきたのか～小説アンでハンセン快復者の人生を描いた意味～」も、教育に携わる我々にとって、またこれからの教員生活に、大きな示唆を与えてくれるものであったと思います。また毎年のことながら上伊那教育会合唱団による歌声は心にしみいりました。今反省をまとめているところですが、この反省を元にして来年度につなげていきたいと思っています。

6月17日の土曜日の早朝より少年の塔の整備作業を行い、休日にもかかわらず59名の会員に参加いただきました。代議員の先生方を始め、初めての参加も多数あり、整備作業としてだけでなく、平和教育研修事業の一つとして実施できていることを嬉しく思います。夏には作業に引き続き慰霊祭も予定しています。今までは役員だけで行っていましたが、更に公益性を高めるために、一般会員や地域の皆様にも参加を呼びかけています。会員の皆様への参加の呼びかけをお願いします。

本年度の県外教育関係機関研修で、6月28日から30日に実施します。17名の意欲ある会員に研修希望を出していただきました。今年は上越市の大手町小学校と城北中学校を訪問し、その教育風土や教育の特色、教育委員会との連携、家庭や地域とのつながり等を、上伊那の実践と比較しながら研修してきたいと思っています。そして研修の成果・課題を共有していきたいと思っています。

職能研修事業の3大研修、哲学研修、文学研修、授業研修が活動を開始しました。どの研修も若い先生方の積極的な参加、求める心をもった研修ができていて、本当に良いなと感じています。この研修からの学びは、自分のためであり、ひいては子どもに返るものであると思っています。

今日は、時間をとり、先生方が日頃これらの研修に対してどのように考えているのか、率直なご意見を伺いたいと思います。色々な思いで参加されている先生方もいると思いますので、忌憚のない意見を是非拝聴し、これからの研修事業・公益事業等に生かして参りたいと思います。

上伊那教育会諸事業についての意見交換



☆ 少年の塔の整備作業・慰霊祭について

昨年度日中友好長野県訪中団に参加した。訪中目的の一つが、中国本土の日本人への墓参だったが、そこで改めて満蒙開拓青少年義勇軍について勉強する機会を持つことができた。不幸にして現地にて命を落とされた方も多数いるし、辛い生きながらえることができたが終戦後、筆舌に尽くしがたいご苦勞をなさったことを改めて学んだ。

500人以上の生徒を義勇軍として旧満州に送り出した上伊那で、現在教育に携わっている私たちはその歴史を正しく知ったり、少年の塔の存在をきちんと知ったり、またその少年の塔の建立の経緯なども知っていてほしい。できれば慰霊の気持ちを持っていただけたらと思った。

本年度上伊那教育会では、整備作業や慰霊祭の参加者についてこれまでよりも門戸を広げていただいたことはありがたい。来年以降もこの方向を継続してほしいと思っている。人から人へこういったことを仲間に伝えていくことが私たちにできる事ではないか。

☆ 児童生徒育成事業について

昨年、私が図画工作の授業で、ひまわりの絵をどういうふうに描いていこうか悩んでいたところ、同じ学校の図画工作の係の先生が、児童会が作品集のDVDを見たらどうだと、紹介してくれた。係の先生と一緒に開いてみたら、構図や色のつけ方等大変参考になった。授業で子どもと一緒に鑑賞でき、活用させていただいた。

夏休みの親子映画館鑑賞会は、毎年人気の映画を選んでいただけるので、とても人気があって競争率も高いと聞いている。観に行った保護者や子どもたちからは、夏休みの1日を親子でとてもよい1日を過ごしていると大変好評でありがたい。どちらも今後とも継続してほしい。

☆ライフステージによった研修事業について

本年度本校には3月に大学を卒業した初任の先生がいる。初任1年目には様々な研修があるが、その中に選択研修がある。その先生は先日14日に行われた基調講演会に参加し、それを選択研修とすることができた。松木先生のお話をお聞きして、「心と心で生徒と対話し、真摯に向き合える教師でありたい。」という感想を話してくれた。このような心に残る講演会を身近で聞くことができたことについて大変喜んでいた。

上伊那教育会の研修事業が初任研の研修として認められていて、地元上伊那で福井大学の松木先生のお話を聴けることは大変ありがたい。今後ともこうしたライフステージに応じた研修事業を会員のために大切にしていきたい。

☆ 県外教育関係機関研修視察について

先日、基調講演会で松木先生がお見えになり自分の古里の長野県を離れて福井でお仕事をする中で、長野県の先生方もっといえば上伊那の先生方は、探求型の先生がいて印象に残っている、虫集めも子どもと一緒に本気になってやっているという話があった。話の後ろの方で、上伊那の教育、更に学ぼうとする先生方の姿勢をかなり褒めていた。

上伊那の学校をモデルにしながら福井の方でも教育システムを考えていると述べていたが、自分たちも上伊那にどっぷりつかっている場合ではなく、他県へ出て、その年その年の教育風土や教育課程を見たり、上伊那教育との違いを見てくることはとても大事だと思う。行かしていただけるのは非常にありがたいことだ。是非今後もうずっと続けていきたい。

☆ 教科等研究会について

総生研は、夏と冬には研修会があり、先輩の先生方のお話や過去の先生方の実践をお聞きすることができる。その時には色々な刺激や手がかりをいただける。

町探検や豆腐作り、タワー作りなどの体験的な講座が計画されていて、多くの先生方とわいわい楽しく学んでいる。少人数グループの討議もあるが、総合活動での悩みを打ち明けて、それに関わってアドバイスをいただくこともできる。

この会に参加し、先生方同士がつながりを持てたり、総合学習のみならず学級経営に関わっても教えていただいたりして、私にとっては学ばせていただいている大事な会。今年の夏休みには夏期研修会があるので、若い先生を誘って参加したい。

初任の頃から算数・数学の教育研究会に入会している。上伊那に来るまでは、大きな研究大会に参加するくらいで、他の学校の先生方と関わることはほとんどなかった。

上伊那に来てから、教育会総会の午後に、会員一同が会し、情報交換や講演会ができる事に大変驚きを感じた。また、夏の研修会ではみなさんが当たり前のように研修会に参加し、学び会い、そこで様々な先生方と出会うことができた。ここで出会ったことが、他の場面でも協力していただき、つながりを持つことができている。更に、小中高の合同研修会も行われており、隔年で高校の授業参観をしたり、高校の先生方に中学校の授業を見てもらったりして授業研究会をしており、高校の先生ともつながる機会となっている。このような会をこれからも大切に、また様々な立場の先生にもっと積極的に関わっていただけたらと考えている。これからも研究助成の方をよろしく願いたい。